



令和7年12月23日

切らずに治す新しい乳がん治療 ～ラジオ波焼灼療法～

<報道概要>

徳島大学病院では、切らずに治す新しい乳がん治療「ラジオ波焼灼療法」を令和6年9月に導入しています。日本乳癌学会で認定された本治療が実施できる徳島県内の施設は当院のみです。

乳がんラジオ波焼灼療法は、メスを使用せずがんを治療する新たな選択肢として注目されています。専用の細い針を腫瘍に挿入し、高周波の熱(ラジオ波)でがん細胞のみを加熱・凝固させて壊死させる治療法です。傷がほとんど残らない形で治療ができ、乳房の形をできるだけ保てる点が特徴です。

対象となるのは、早期の小さな乳がん、現在は限られた条件下で実施されています。治療による費用や入院期間は、従来の乳房部分切除と差はありません。乳房を温存したい患者さんにとって新たな選択肢となりうることから、国内で導入が進みつつあります。

お問い合わせ先

徳島大学病院 食道・乳腺・甲状腺外科

外来医長 井上 寛章

電話番号 088-633-7143

メールアドレス inoue.hiroaki[アット]tokushima-u.ac.jp

※メールを送信される場合には、[アット]を@に置き換えてください

770-8501

徳島市新蔵町二丁目24番地

電話番号 088-656-7021

<https://www.tokushima-u.ac.jp/>